

# 深川東京モダン館だより

fukagawa tokyo modankan news  
fukagawa tokyo modankan news

**共催 圓橘の会** 12月14日(土)15:00～ (開場14:30) 三遊亭圓橘 萬丸  
 太宰治 新釈諸国噺より「赤い太鼓」岡本綺堂 巷談新集「磯部のやどり」

**新春圓橘一門会** 1月2日(木)・3日(金) 16:00～ (開場15:30)  
 両日とも 圓橘、萬橘、朝橘、萬丸、萬次郎



圓橘の会・一門会ともに 各回 3,000円

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

## 2024年12月・2025年1月のカレンダー

その他の催し物の詳細は  
2・3・4面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 休館日	3 おきがる講座	4	5	6	7	8
9 休館日	10	11	12 キッチン 松ぼっくり 営業日	13	14 圓橘の会	15
16 休館日	17 噺+話	18	19	20 おきがる講座	21 講談・落語・講座	22
23 休館日	24	25	26	27 臨時休館日	28 臨時休館日	29 臨時休館日
30 臨時休館日	31 臨時休館日	2025年 1 臨時休館日	2 新春落語会	3 新春落語会	4	5
6 休館日	7	8	9 キッチン 松ぼっくり 営業日	10	11 仙台・秋保×深川	12 仙台・秋保×深川
13	14 休館日	15	16	17	18	19 食べる・学ぶ・深川めし
20 休館日	21	22	23 キッチン 松ぼっくり 営業日	24	25 講談会	26
27 休館日	28 噺+話	29	30	31		

2024年12月・2025年1月の催し



共催 **噺 + 話** 各日程 14:00～15:30 (開場13:30)

12月17日(火) 三遊亭歌扇「らくだ」※11月26日(火) 10時から受付開始

1月28日(火) 雷門音助「味噌蔵」※1月15日(水) 10時から受付開始

それぞれ龍澤潤による「演題にちなんだ話」があります 両日 予約・当日1,500円 定員20名

共催 **講談と落語と講座と** 12月21日(土) 14:00-16:00

**酒特集**

講談「赤垣源蔵徳利の別れ」 神田 陽子

落語「替わり目」 橘家 蔵之助

講座「くだらない」もの 龍澤潤

予約・当日2,000円 定員30名  
(小～高校生1,500円)

※12月5日(木) 10時から受付開始



共催 **食べる・学ぶ・深川めし**

1月19日(日) 11:00-15:00

11:00-14:30 弁当販売(500円、1000円) (深川めし八郎右衛門)

11:30-14:00 深川めし調理実演・販売 (500円) (深川宿)

14:00-14:45 レクチャー「江戸の近郊のネギの産地」



※参加無料・予約不要

共催：深川めし振興協議会

共催 **仙台・秋保 × 深川 2025**



1月11日(土) 10:00～17:30

仙台・秋保温泉郷の魅力を紹介するパネル展  
工芸品、おはぎ、ワインほか販売

12日(日) 10:00～15:30



※おはぎ販売両日とも 14:00～ ※おはぎ整理券配布は両日とも 13:00～

1000円以上お買い上げで  
ガラポン1回分抽選券

共催 **第41回 モダン講談会**

1月25日(土) 14:30～ (開場14:00)

**立春大吉～福徳が降りそそぎますように～**



神田 陽乃丸  
神田 桜子  
松林 伯知  
神田 紫  
神田 陽子

予約・当日 一般:3,000円 小～高校生:1,500円 定員:50名 (要予約) 全席自由席

後援：一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会

※12月17日(火) 10時から受付開始

主催 **おきがる講座**

12月3日(火) 14:00～15:30 江東区の震災復興橋梁  ※11月26日(火) 10時から受付予約

12月20日(金) 14:00～15:30 シリーズそのとき栄一は⑧

明治22年の動向～その後の栄一と深川 ※12月5日(木) 10時から受付予約

※各回とも 受講料:500円 定員:30名(要予約) 講師:龍澤潤(深川東京モダン館)

## 第48代名横綱 大鵬物語



第48代名横綱大鵬、本名納谷幸喜は昭和15年に樺太の敷香（現サハリン・ポロナイスク）という町で生まれました。母納谷キヨは21才の時にたったひとり樺太に渡り敷香の洋裁店で住み込みで働いていました。父マルキャン・ポリシコはウクライナの白系ロシア人で貴族出身コサック騎兵隊の将校でしたが、革命で身を追われ敷香の町でキヨと出会い結婚したのでございます。長身で温厚な父と働き者の母キヨは郊外で牧場を営んでいました。そして、日本軍に軍馬を200頭も献上し東条英機首相からも謝礼を言われたそうでございます。ところが終戦の2年前、白系ロシア人に「集団移住」の命令が下され父は家族と離れて住むことになり、昭和20年8月8日突然ソ連軍は雪崩のように樺太に侵入して来たため、8月16日早朝一家4人の逃避行が始まりました。敷香から最後の貨車で大泊まで行き、そこから北海道への船に乗るつもりでしたが何と大泊のホームに馬に乗った父がいました。

「あっ、あれは父ちゃんだ！」と兄が指差し、母は「しっ！ 声を出してはダメ！ 私達は見つかったら殺されるかもしれないよ今は母ちゃんの言うとおりにして！ いつかきっと父ちゃんに会えるから・・・貴方！ 必ずこの子達を日本で日本人として立派に育てます！ お身体を大切に！ 命を大切に！」

断腸の思いで4人は荷物で顔を覆って息をひそめました。父は最後の引揚げ列車と知って探しにきたようであちこち見回していました。これが大鵬が父を見た最後の日となったのです。

大泊栈橋から4人は最後の乗客となり1514人を乗せた小笠原丸は出航、ソ連軍の砲撃や潜水艦を避け決死の覚悟で北海道への逃避行を試みたのであります。途中稚内に入港、ところが母が船酔いが激しく、ここから歩いて岩内にある親戚まで行こうと船を下りました。小笠原丸は出航し翌朝午前4時22分留萌沖で国籍不明の魚雷によって撃沈、他の引き上げ船も撃沈され1700人という多くの犠牲者が出ました。これが終戦後1週間も経った北の果てでの悲惨な出来事でありました。

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内（10時～16時）およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー（1時間程度、11時・14時出発）を行っています。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

奇跡的に生きながらえた4人はようやく岩内にたどり着き物置小屋のような一室での生活が始まりました。その後、昭和31年16才の時に二所ノ関部屋に入門し、名横綱大鵬が誕生するのでございますが、5才で別れた父はその後スパイ容疑で連行され容疑が晴れてからはサハリンの博物館で働いていて、何と昭和35年に大鵬が新関脇で初優勝した年まで生きていたそうでございます。

父は我が息子の活躍を知っていたのでしょうか！ 息子もこの晴れ姿を父にどれ程見せたかったのでしょうか！ いずれにしても時代の波に翻弄された親子でございました。

生前、母キヨは大鵬の妻芳子さんに生涯胸に抱いていたたった1枚のマルキャン・ポリシコの写真を渡しました。「戦後お父さんは、ソ連に連行される日本人を何人も助けたそうだよ。そして日本に帰る人達に家族の消息がわかったら連絡して欲しいと頼んでいたらしいよ。あ～もう一度会いたかったねえ～」

現在のサハリン州ポロナイスク市中心部にある市役所裏の空き地（大鵬の生誕地）に大鵬の銅像が建てられています。

この昭和の大横綱大鵬を私達はこれからも語り継いでいきたいと思っております。

追記 2024年8月20日ラ・プロンジェ深海工学会が留萌沖を調査し、小笠原丸がほぼ水平に鎮座し原型を保っていることを明らかにした。



（文と写真 江東区文化観光ガイド 伊藤 ひとみ）

給食の懐かしい味!

# キッチン 松ぼっくり



12月12日(木) 11:45~14:00

**ピラフ 鶏肉のチャンチャン焼き**

南瓜のミルク煮 ゆず香添え フルーツポンチ

1月9日(木) 11:45~14:00

**七草風ご飯** 松風焼き あんだれ

れんこんの炒めもの なます

1月23日(木) 11:45~14:00

**炒めそば五目あんかけ**

わかめ入りスープ りんごとさつま芋の甘煮



1月は2回営業します!

写真はイメージです

**各 850 円**

サイドメニュー 揚げパンは +50円

※受付は各日とも当日の10:00から(開館は10:00) ※完売次第、閉店いたします ※ラストオーダーは13:30です  
※ご予約はできません ※メニューを一部変更する場合があります

## ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター  
コトミちゃんグッズ各種  
(タオルハンカチ ステンレスボトル等)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒  
味噌ラーメン
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ
- ・キーホルダー 等

ちくま味噌  
元禄浪士あま酒  
410円(税込)



## 百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。  
ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」(しっかり・すっきり)の3種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



**開館時間 10:00-18:00**

※4月から開館時間をすべて10:00-18:00に変更しました

休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)

「深川東京モダン館だより」第138号(2024年11月21日)発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館  
〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15  
TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632  
Mail info@fukagawatokyo.com  
ホームページ www.fukagawatokyo.com

